



エクシード茅ヶ崎 防災活動ニュース

発行NO 第7号

発行日 2023年10月4日

発行 エクシード茅ヶ崎
自主防災会

2023年総合防災訓練「秋」実施



訓練前の事前説明

全戸対象の津波避難訓練 上層階への避難 約80名が参加

2023年度防災活動計画に基づき、防災訓練「秋」を9月9日(土)10時から当マンション全戸対象に実施しました。

今回の訓練は、震度6クラスの地震と津波が予想される訓練で津波避難訓練(上層階への避難)、要支援者への避難告知、大釜での避難時の炊き出し(とん汁)訓練を行いました。



本部(2階集会場)より放送

また、新たな訓練として、10時に管理人室から全戸一斉インターホンでの通話テストを行ないましたが、残念ながら有効性は確認できませんでした。

訓練は、10時15分に津波発生、上層階へ避難するよう放送開始、住民は「黄色いタオル」を玄関前の手すりに結んで1階～4階は5階以上の上層階に、5階以上の住民は開放廊下に待機、自主防災委員は各階の住民に上層階へ避難の呼びかけ、各階の状況無線を使って防災本部(2階集会所)へ連絡、防災本部では各階担当の自主防災委員からの避難状況の連絡を受け、確認・フォローを実施した。(避難所要時間は津波発生放送後、約15分で上層階への避難が完了) 避難訓練終了後に避難者は2階ロビーに集合してもらい、各自、とん汁を食べてもらいその後、鈴木自主防災会長による訓練の総括及び参加者からの意見、感想を伺った。



訓練前にトランシーバー操作説明



管理人室から全戸一斉インターホン



1階～4階住民への巡回避難告知



住民は5階以上の廊下へ避難



終了後、2階洋室にて訓練総評実施

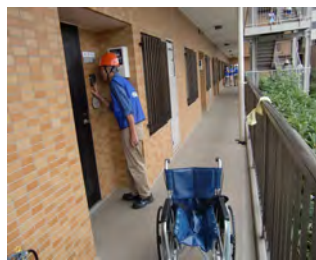
要支援者への避難告知、避難時の炊き出し訓練(とん汁) 実施

「茅ヶ崎市避難行動要支援」に基づき、当マンションの避難行動要支援対象者宅(1階～4階)に車椅子と共に伺い、避難告知を行った。

1階～4階の避難要支援者宅を自主防災委員及び民生委員児童委員が訪問し避難告知を行った。今回、車椅子での避難は行いませんでした。車椅子での避難訓練に関しては、別途計画を予定します。

避難時の炊き出し訓練では、防災倉庫に保管している大釜(300食)を使って約80食分のとん汁を作り、訓練参加者に食べて頂いた。

野菜は、マンション住民からの無償提供して頂きました。



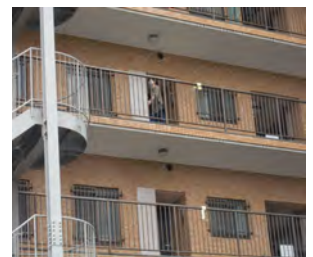
車椅子と共に要支援者へ避難告知



約80食分にとん汁を作り参加者へ配布



2階洋室屋上に拡声器を設置



手すりに黄色のタオルを結び避難

訓練項目	訓練概要
管理人室から全戸一斉インターホンでの通話テスト	10時に管理人室から全戸一斉にインターホンで通話テストを行ったが、残念ながら有効性は確認できなかった。
津波避難訓練	・10時15分にマイクによる津波発生警報、訓練参加者黄色いタオルを廊下の手すりに結び、廊下へ避難した。(1階～4階の住民は5階以上へ避難) ・1階～4階の避難行動要支援者宅を自主防災隊、民生委員児童委員が車椅子と共に伺い、避難告知を行った。
炊き出し訓練	大釜(300食)を使って約80食分のとん汁を作り、訓練終了後に参加者に配布、とん汁を持って2階洋室にて試食
訓練総評	2階防災本部(洋室)に集合し、参加者より訓練の意見・感想をヒヤリングし、訓練総評を行った。

エクシード茅ヶ崎自主防災会は、毎月「自主防災会議」を開催し、防災訓練や防災備品等の購入・管理等について、討議・実施を行っています。

2023年9月9日実施の「エクシード茅ヶ崎防災訓練」

過去には自治会イベントと併合して行っていた防災展示会や防災訓練は、2011年頃から自主防災組織単独行事として、上層階への退避訓練を基軸にした消火器体験訓練、炊き出し訓練、非常用トイレ設置訓練、ベランダ隔壁破碎訓練、傷病者の搬送訓練等々を組み合わせで行ってきました。また、今年度からは要支援者への支援についても対応を検討するよう、行政の指導や新しい試みを加味しつつ行いました。

【戸別訪問の開始から担当フロア終了までの結果】

2014年頃から行っている上層階への退避訓練において条件に多少の違いはあるものの、各フロア同時進行で全戸告知開始から終了までの時間は初回訓練で約**25分**、2回訓練で約**20分**、3回訓練で約**14分**でした。今回は1階から順に4階までを優先し、5階以上は下から順次告知する方法を選択。結果、1階から4階まで約**11分**、5階以上は**22分**という結果になりました

● 10:15am 各階告知スタート・終了報告・所要時間			
A棟	B棟		
11F・			11F・-----
10F・			10F・-----
9F・	115 武藤		9F・ 10:35am 20分
8F・609 加賀美	320 平松	413 原 617 佐藤	8F・ 10:32am 17分
7F・911 靄	704 山口		7F・ 10:37am 22分
6F・220 菊池	806 篠原	904 井上	6F・ 10:32am 17分
5F・1106 須古	513 谷中	115 武藤	5F・ 10:26am 11分
4F・911 靄	704 山口		4F・ 10:26am 11分
3F・609 加賀美	320 平松	413 原 617 佐藤	3F・ 10:26am 11分
2F・220 菊池	806 篠原	904 井上	2F・ 10:25am 10分
1F・1106 須古	513 谷中	115 武藤	1F・ 10:25am 10分

【退避済みサイン「黄色いタオル掲示」の結果】

2016年頃から自主防災組織員による全戸告知における時間短縮の目的で「避難済み戸」を表す目印として開放廊下フェンスに黄色いタオルを掲示しています。

● 解放廊下の手すりに結ばれた「黄色いタオル」の数		
A棟	・	42本
B棟	・	27本
	合計	・ 69本

2023年9月9日 実施のエクシード茅ヶ崎防災訓練

【アンケート結果】

Q1) ①あなたの年代 (○印をつけてください)

30代 **1** 40代 **1** 50代 **2** 60代 **24** 70代 **16** 80代以上 **9**

②あなたの性別 (○印を付けてください)

男 **17** 女 **32** 無記入 **4**

Q2) 過去【エクシード茅ヶ崎防災訓練】に参加したことがありますか？

1. 参加したことがある **47** 2. 参加したことはない **6** 無記入 **4**

(初めて **1** 2回 **6** 3回 **9** 4回 **1** 5回 **1** 4~5回 **1** 20回 **1** 毎年 **2**)

Q3) 今回は、大きな地震により津波発生を想定した避難訓練でしたが、

事前に防災訓練の案内を全戸配布しましたが、見ましたか。

1. 見た **48** 2. 当日知った **1** 3. 見なかった **4** 無記入 **1**

Q4) 大きな地震・津波が発生したらどのような行動をとるか認識されていますか？

1. 認識している **48** 2. 認識していない **0** 3. 判らない **4** 無記入 **1**

Q5) 既存インターフォンによる一斉放送テストは聞き取れましたか。(10:00~10:15頃)

1. 聞こえた **3** 2. 聞こえなかった **48** 無記入 **2**

(聞こえた方に質問)

1. スピーカーから聞こえた **1** 2. 受話器をとったら聞こえた **2**

(テスト内容はどれですか。)

[1] 関東大震災から100年です **1**

[5] 水と食料は最低でも7日分

[2] エクシードは垂直避難です **1**

[6] エクシードの退避は5階以上 **2**

[3] 地震の後は津波に注意です **1**

[7] 逃げる時には手すりにタオル **3**

[4] 大地震は近々必ず起ります

[8] お隣さんにも一声かけて

Q6) 今回の防災訓練は、役に立ったと思いますか？

1. 役に立った **48** 2. 役に立たなかった **7**

Q7) 上記以外で、防災全般についてどのようなことでも結構ですので、

ご自由に記入してください。

19名の方よりご意見

・最近特に防災について関心があります。

常に準備しております。

防災会議の役員の方々の熱心な啓蒙のお陰と感謝しております。

- ・外のスピーカーからのメッセージは、玄関近くまで寄れば聞こえたが、リビングでは全く聞くことが出来ませんでした。
個別に訪問して下さったかたが来るまで気付かない方もいそうですね。
- ・マイクによるアナウンスは 解放廊下に近い部屋では 内容が聞きとれた。
又、女性が話した時の方がよく聞き取れた。
訓練は防災意識が高まるので良いと思いました。
- ・防災会では 各家庭分の食料備蓄はしておらず、各戸で準備すべきことを明確に伝えた方がよい。
トイレをどうするのか指針がない。
→ エクシード災害時は地域の避難所に行かず、マンション内での避難生活を指導されています。
過去の防災訓練において、①断水時の各戸トイレの使い方、②敷地内排水口に設置するトイレ、
③偶数階エレベーターホールに設備の「緊急時用トイレ」組立訓練などを行いました。
「各戸で備える食料備蓄」と共に繰り返しアナウンスの必要があるようです。
- ・地盤の液状化が起こった時 エクシードの建物はどうなるのか？
ハザードマップで液状化の地域を知らせて欲しい
→ 建物は関東ローム層の上、パイルは打ち込まず基礎部分が浅い岩盤上にあるので、
液状化に限っては、建物本体は沈まず周辺が沈下すると推測しますが専門調査が必要です。
液状化地域については現行の「茅ヶ崎市液状化ハザードマップ」に記されています。
- ・全体的に冗長な感じがした
→ 各戸訪問告知の間、解放廊下で待機の方には気付きにくいですが、結果報告に記した通り、
わずかな人数で本部と連絡を取りながら 200 戸へ各戸訪問告知は時間が必要です。
時短の課題は懸案事項でもあり、他の問題と共に検討を重ねます。
- ・いつも準備から当日までお世話様です。B棟に入居しております。
リビングでの放送は全く聞こえません。玄関先でやっと聞こえる状態でした (50%)。
非常ベルのような合図があり、外に出た(廊下)時点での放送アナウンスが良いと思いました。
とん汁、とても 意味でした 美味でした。ごちそうさまです。
- ・要支援者支援の車イスは水平移動のみ可能の為、体力のある方ならオンブして上階へ行くのが有効。
避難時火災の飛び火が怖いので窓は閉めた方がよい。車イスが重すぎる(軽い車イスが欲しい)
今回の訓練で 1~2F 要支援者の事を忘れており、車椅子も使われていない
→ 1階~4階までの茅ヶ崎市登録の要支援者宅には訓練当日の他、民生委員と共に数日前に
戸別訪問しました。「避難行動要支援者」同意確認書の提出をご確認をお願いします。
- ・管理人室からのインターホンからの放送は何も聞こえなかった。
インターホンからの呼びかけもなかった。

- ・リビングにいと聞こえない
解放廊下 側の部屋の窓を開けていないと聞こえない。
- ・地球温暖化による 想定外の異常気象等が多発している今日この頃、まずは自分の命を守るの基本から始まり、家族、地域、国、世界と徐々に グローバル化していくと思いますが、それらは一朝一夕に出来るものではないので日頃からこの様な 防災訓練が 極めて大事だと思います。頑張ってください!!
- ・防災訓練の企画 ありがとうございます。
少しずつ 訓練を積み上げ、いざという時のために役立てたいと思います。
- ・スピーカーの音が室内ではよく聞き取れなかった。
(聞き取れる時もありました)
- ・防災訓練の案内、アンケート両紙 とともに発行責任者名の表示がありませんが「エクシード 茅ヶ崎 自主防災会 会長 鈴木雅治」と表示すべきと思いますが。
- ・防災放送については 今後一工夫が必要に思う。
外に出て外からスピーカーを使えば聞こえたと思う。
いざとなったら皆、勝手に動いてしまうのではないかと心配です。
- ・ご苦労様でした!!
インターフォンは一切鼓動せず
- ・手が離せない用事があり、参加できませんでした。
手すりにタオル掛けのみ行いました。
- ・インターフォンからは何も聞こえず
音も鳴る事もなく 訓練している気がしなかった
- ・インターホンによる一斉放送が不可であり、拡声器による放送でしかない。
LINE やメールの一斉通知を必要と思いますが、拡声器も持ち運べる サイズなので A 棟も B 棟も リビング 室に届く様、公園や敷地外から放送が必要と感じました。
→ 過去の訓練においてリビング側から放送訓練を実施しましたが、全体に聞こえる位置への移動に時間を要する事、拡声器を持ち運んだ人の安全が確保できないことなどから現状になっています。
今後は拡声器を増やして 11 階の屋上から放送するなどの対策が必要かもしれません。

※ご意見ありがとうございました。今後の活動に反映できるように努めます。

なお、文言は基本的に原文をテキスト化しました。

茅ヶ崎市 液状化ハザードマップ

液状化危険度 (PL値+土地条件)

本調査における液状化危険度は、地形や人工改変地の有無などから定まる「土地条件」と地質調査成果を用いた計算により求められる液状化危険度を示す「PL値」を組み合わせて評価しました。組合せによる評価は、以下に示す表のランクで示しており、凡例に示すランクと対応しています。例えば、土地条件による液状化危険度が「1」、PL値による液状化危険度が「1」となる地域は、液状化マップの凡例にある「ランク1」となります。また、PL値による液状化危険度ランクと土地条件による液状化危険度ランクが「4」になる地域においても、液状化が発生する可能性が0ではないため「液状化の可能性が低い」という表現を用いています。

神奈川県が公表している液状化危険度は上記のPL値のみで評価されたものであり、茅ヶ崎市では地質調査成果を詳細に分析するとともに「土地条件」を加味して液状化危険度を行っているため、神奈川県が公表している液状化危険度とは評価が異なります。

なお、この液状化危険度評価は、想定した地震が発生した場合に「液状化の可能性が高い」地域などで必ず液状化が発生することを示したものではありません。

PL値による液状化危険度

ランク	1	2	3	4
ランク	1	2	3	4
1 液状化の可能性 非常に大きい	1			
2 液状化の可能性 大きい		2		
3 液状化の可能性 小さい				3
4 液状化の可能性 なし				

土地条件による液状化危険度



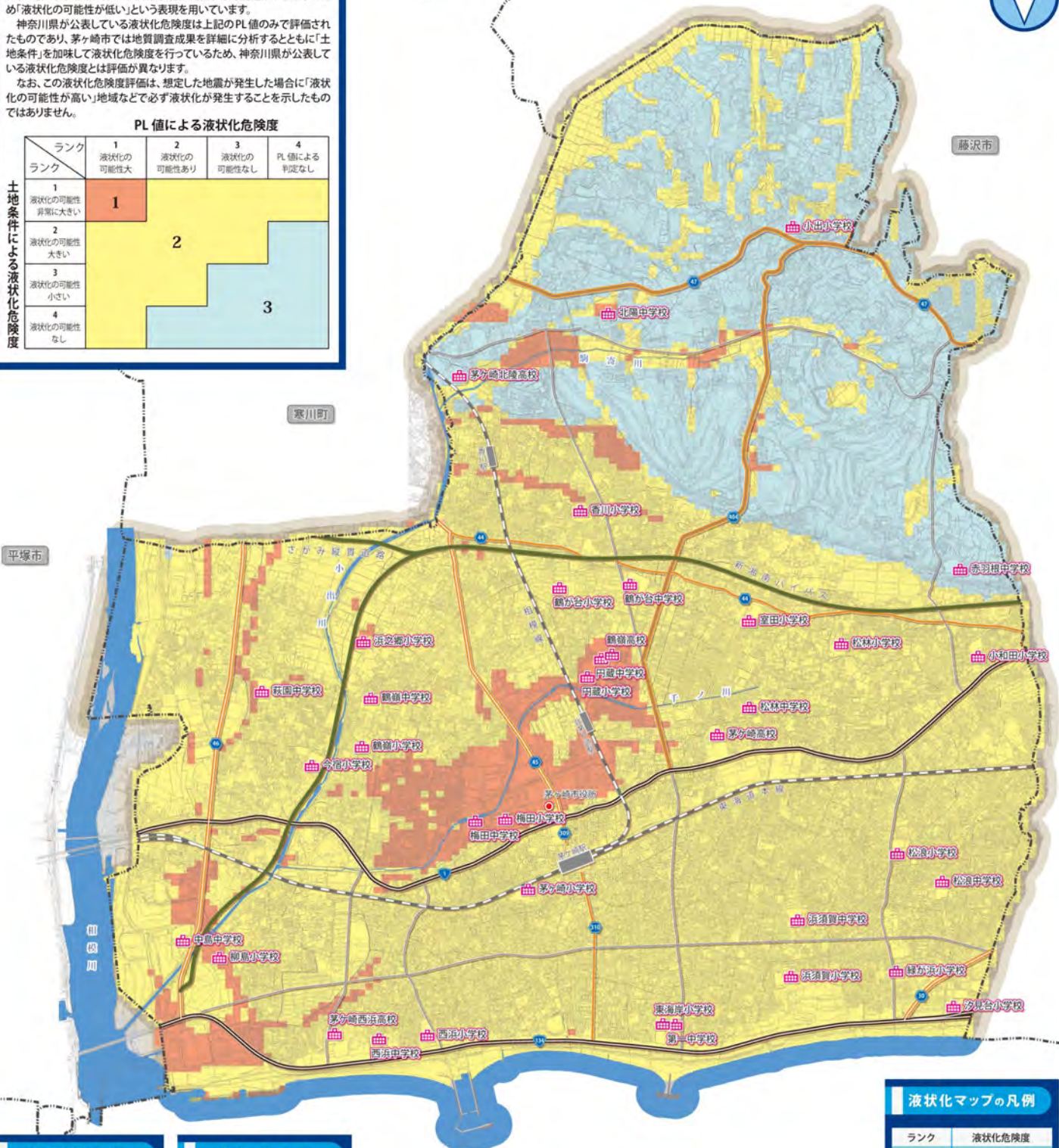
想定する地震

この面に記載した液状化危険度評価は、【南関東地震(大正型)】(マグニチュード7.9)が発生した場合の液状化危険度を評価したものです。茅ヶ崎市内の地質調査成果をもとに南関東地震が発生した場合の揺れやすさを想定するとともに、その揺れをもとにPL値を計算しています。南関東地震の揺れやすさはウラ面に記載しています。

①南関東地震(大正型)



南関東地震(大正型)は、フィリピン海プレートに伴って発生する海溝型の大地震で、1923年(大正12年)に発生した関東大震災の再来を想定したものです。



地図の凡例

- 学校
- 市役所
- 高速道路
- 鉄道
- 行政界

道路の凡例

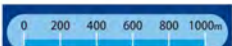
- 緊急輸送道路
- 補完路
- その他
- 国道
- 県道
- その他

緊急輸送道路とは

緊急輸送道路とは、災害時の応急対策活動に必要な緊急車両の円滑な通行の確保を図るため、県が指定した道路です。市では、防災拠点を結ぶ「緊急輸送道路を補完する道路」を指定しています。

液状化マップの凡例

ランク	液状化危険度
1	液状化の可能性が高い
2	液状化の可能性がある
3	液状化の可能性が低い





液状化に関するQ&A

Q1 液状化はどのような所で起きやすいのですか？

A1 「地下水位以下の緩い砂質土層は液状化しやすい」と言われています。
つまり、

- ① 地下水位が高い
- ② 締め固まっておらず緩い地盤
- ③ 粒度が均質な砂地盤

この3つの条件が揃うと、液状化がしやくなると言われております。
埋立地や盛土地、旧河道などは液状化しやすい地盤です。

Q2 地震が起きると必ず液状化するのですか？

A2 このマップはあくまで液状化の可能性の「傾向」を示したもので、「液状化の可能性が高い」地域で必ず液状化することを示したものではありません。

Q3 自宅がマップ上で「液状化の可能性が高い」と判定された場合、どうしたらよいですか？

A3 液状化するかしないかの判断は、その地点でピンポイントの地質調査をする必要があります。主な調査方法として「電気式静的コーン貫入試験（CPT）」「ボーリング調査」などがあります。
詳しくは「[住宅の液状化軽減策](#)」をご覧ください。

Q4 液状化を防ぐためにはどうしたらよいですか？

A4 液状化しやすい3つの条件である「①地下水位が高い」「②締め固まっておらず緩い地盤」「③粒度が均質な砂地盤」が揃わないようにすることです。
詳しい工法や費用などは「[住宅の液状化軽減策](#)」をご覧ください。

※軽減策を講じたから必ず液状化が防げるというわけではありませんので、ご注意ください※

Q5 一度液状化した場所で、何度も液状化は起こるのですか？

A5 過去の大きな地震では、同じ場所で何度も液状化しているという事例も見られていますので、「一度起こると二度と起きない」とは言えません。

Q6 今までの神奈川県や茅ヶ崎市の液状化ハザードマップと内容が違いますが、何が違うのですか？

A6 神奈川県や今まで茅ヶ崎市が公表していた液状化ハザードマップは、液状化危険度を示す「PL値」という手法を用いて評価していました。今回茅ヶ崎市が公表した液状化ハザードマップは、この「PL値」に「土地条件」を加味している点で内容が異なります。「土地条件」とは、もとの地形や、人工改変地の有無などによって、液状化の危険性を評価したものです。

Q7 「まっぴdeちがさき」や「天サイ！まなぶくん茅ヶ崎版」にも、液状化の情報はアップされるのですか？また、紙でのマップを希望する場合はどうしたらよいですか？

A7 「まっぴdeちがさき」につきましては9月中を目途に、「天サイ！まなぶくん茅ヶ崎版」につきましては10月中を目途に、順次更新してまいります。紙での配布をご希望される方は、9月上旬から市内公共施設にて配布いたします。